

事務事業名		保健事業推進協力支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)		事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	健康増進課
	政策	1 健康で安心して暮らせるまちづくり					担当係	成人保健係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 心と体の健康づくりの推進					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1 健康づくりの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	6914	一般	4	1	1	保健事業推進協力支援事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S50年度～ 年度		根拠法令 条例等	事業区分		市単独事業・国県補助事業			市単独事業
								任意的事業・義務的事業			任意的事業
								実施方法			直営
								事業分類			支援事業
								リーディングプロジェクト			該当なし
								市長マニフェスト			1-5

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成27年度実績(平成27年度に行った主な活動内容)					
佐野市医師会に交付金を交付し、佐野市で行う予防接種・各種健診・健康相談・教室等事業に対して、各医療機関との調整や医師の割振りなどを依頼している。		(市の活動) 佐野市医師会に交付金を交付するための事務(申請書の内容審査、交付決定、実績報告書の内容審査、交付金の交付)。  (佐野市医師会の活動) 各種保健事業への協力 各種予防接種や各種検診における市との協議、指導及び各医療機関との調整。					
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
医師会会員数		人	193	204	198	198	198
医療機関数(歯科除く)		個所	108	107	110	107	107

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

市民	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
	市人口	人	123,182	122,582	121,522	120,683	

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

目的	市民の健康づくりが図られる。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
		特定健診受診者数	人	5,492	5,156	5,299	9,238	9,238
		各種がん検診等受診者数	人	34,345	33,254	35,900	40,723	40,723
		健康教室・健康相談等参加延べ人数	人	3,817	3,355	2,933	3,900	3,900

④ 結果(どのような結果に結びつけますか?)

多くの市民に検診(健診)を受けてもらう。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
	特定健診(国保40～75歳未満)受診率	%	21.1	20.1	21.0	57.0	60.0
	がん検診受診率	%	20.1	19.7	21.2	29.6	32.5

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	900	900	900	900	900	
	事業費計(A)	千円	900	900	900	900	900	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金補助及び交付金	900	負担金補助及び交付金	900	負担金補助及び交付金	900
	人件費	人	2	2	2	2	2	
のべ業務時間	時間	6	6	6	6	6		
人件費計(B)	千円	23	24	23	23	23		
トータルコスト(A)+(B)	千円	923	924	923	923	923		

事務事業名	保健事業推進協力支援事業	担当部	健康医療部	担当課	健康増進課	担当係	成人保健係
-------	--------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和50年開始、きっかけは不明。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	特になし
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成21年度に佐野市補助金等交付検討委員会より、補助額は今後検討すべきとの提言があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(コストの見直し)	具体的な協議までには至らなかった。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	疾病予防のため、各種健診や各種予防接種を円滑に実施するために医師会と連携協力をとることは必要である。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	市民の健康づくりに取り組むことは、市の務めである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	予防接種や各種健診を市民が受けることは、自分の健康に関心を持つことであり、健康維持につながる。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	予防接種や各種健診などの実施にあたり、医師会の協力がありスムーズに実施されており、成果は十分に出ている。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	事業費の削減余地がある	理由・改善案	事業費については、佐野市補助金等交付検討委員会より、補助額は今後検討すべきとの提言があったので、今後、佐野市医師会と協議を行う必要がある。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求めない	理由・改善案	支援のための交付金の支出であり、受益者負担を求める性質のものではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
疾病予防のため、各種健診や各種予防接種、健康相談等、医師を必要とする事業がなくなれば本事業は終了できる。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性		(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策
事業のやり方改善(コストの見直し)		廃止・休止の場合は、記入不要×の領域は改革改善ではない。	地域医療の充実を図る上で佐野市医師会の協力は必要であり、補助金の削減については慎重に協議を行っていかなければならない。
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)		コスト	
事業費については、佐野市補助金等交付検討委員会より、補助額は今後検討すべきとの提言があったので、今後、佐野市医師会と協議を行う必要がある。		削減 維持 増加	
		向上	
		成果維持	○ ×
		低下	× ×